

熊本県公立高校入試徹底分析【国語】

【形式・難易度】

試験時間	50分	配点	50点
問題構成	大問5題。知識事項、資料読み取り、論説・説明文、小説、古典ごとに大問1題。 大問1は漢字、語句、文法が出題され、配点は9点。 大問2は資料の読み取り、会話文形式の出題がされ、配点は7点。 大問3は論説・説明文が出題され、配点は10点。 大問4は小説が出題され、配点は10点。 大問5は古典が出題され、配点は8点。 作文は大問3に組み込まれ、上記の配点に6点が追加される。		

	令和7年度(2025)	令和6年度(2024)	令和5年度(2023)	令和4年度(2022)	令和3年度(2021)
問題量 (A4で)	10ページ分	10ページ分	10ページ分	10ページ分	10ページ分
小問数	30問	32問	30問	31問	30問
論述問題の数	9問	6問	7問	10問	9問
論述問題配点	24点	18点	21点	24点	23点
受験者平均点	—	27.2点	25.4点	24.8点	20.5点

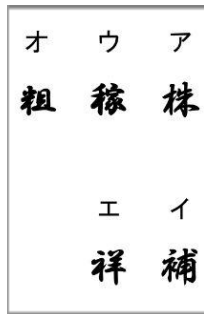
【出題の傾向と対策】

①書体、辞典に関する知識を深める。

R4[1]



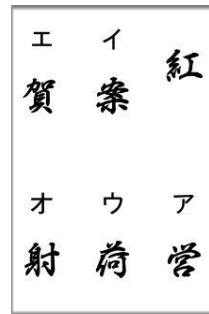
R5[1]



R6[1]



R7[1]



R4[1]4 [Ⅰ]、[Ⅱ]、[Ⅲ]の部分に入れるのに適当な言葉を、それぞれ [Ⅰ]と[Ⅱ] はあとのa群(ア・イ)から、[Ⅲ]はあとのb群(ウ～キ)から一つずつ選び、記号で答えなさい。

【違いを述べた文】 [Ⅰ]は[Ⅱ]に比べ、点画を[Ⅲ]書くので速く書くことに適している。

a群 [ア 楷書 イ 行書]

b群 [ウ 崩さずに エ 明確に オ 直線的に カ 独立させて キ 連続させて]

R5[1]2 二重傍線Aの部分「社」の漢字と同じ部首の漢字を次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

R6[1]3 二重下線Bの部分「純」を楷書で書いた場合の総画数と、次のア～オの漢字を楷書で書いた場合の総画数が同じものを一つ選び、記号で答えなさい。

R7[1]3 次は、二重傍線Bの部分「紅」を行書で書いたものであり、楷書とは筆順が異なっている。「紅」のように、楷書とは筆順が異なっているものを、あとのア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

★R6「漢和辞典」に関する出題があった。日頃から国語に関わるものに興味、関心を持つ必要がある。

②文法事項の解法、慣用句やことわざ、故事成語の意味と用例を暗記する。

R7[1]5 二重傍線Dの部分「きらきらと」の品詞を書きなさい。

R7[2] 日本の農業は高齢化の進行や農地の荒廃があって、決して [②] とは言えない状況なんだね。

2 【話し合いの様子】の [②] の部分に入れるのに最も適当な四字熟語を、次のア～オから選び、記号で答えなさい。

ア 大器晩成 イ 五里霧中 ウ 危機一髪 エ 順風満帆 オ 絶体絶命

★直近の7年間で品詞分類、活用の種類・活用形のいずれか、もしくは両方が常に出題されている。

③会話を交えた資料の読み取りがほぼ毎年出題されるため、多くの情報から必要な事柄だけを抽出し、まとめる力が求められる。

R 6[2]

- 4 次は、【発表原稿】の傍線④の部分「ソーシャルメディア」について調べていく中で、日本におけるソーシャルメディアの利用の特徴に興味を持った池田さんが、下の【グラフ】を参考にしてソーシャルメディアの利用に関する日本と他国の違いについてまとめたものである。[A]と[B]の部分に入れるのに最も適当な言葉を、【発表原稿】からそれぞれ十五字以上、二十字以内で抜き出しなさい。ただし、二箇所ある[A]には同じ言葉が入る。

池田 ④今日の講話は、インターネットとの付き合い方という、私たちに
とって身近な内容だったね。

宮本 ④インターネットの使い方については、これまでも勉強してきた
よね。今日の講話でも、実際にあったことがたくさん紹介されてい
て、わかりやすかったよ。

井上 ④うん。自分だったらどうだろうと想像しながら話を聞くこと
ができたよ。調べものをする時だって、たくさん情報がすぐに見
つかるインターネットはとても便利だから、毎日のように使ってい
るよね。

松永 ④ただ、今日の講話を聞いていたら、インターネットは便利だけ
じゃないと感じたよ。

宮本 ④意見をなくしても③を信じて拡散してしまう危険性や、ネッ
ト依存、著作権の侵害など、いろいろの問題が紹介されていたね。
リスクがたくさんあるし、何に注意すればいいかわからなく
なってしまうさ。インターネットを安心して使うには、どん
なことに注意して利用すればいいのかわからない。

井上 ④そうだね。危険だからインターネットは使わないというわけには
いかないからね。

池田 ④インターネットを使うと、学びを広げたり、深めたりすることが
できるから、勉強する時にインターネットを活用することも多いよ
ね。インターネットを上手に使っていきたいね。

【発表原稿】

皆さんがインターネットを使う時に気をつけていることは何ですか。
情報流出、人間関係のトラブル、誤った情報の伝播、権利の侵害、健康
被害など、さまざまなリスクがあるため、混乱してしまうという人もい
ると思います。そこで、こうしたリスクに対応するための情報セキュリティを
理解するに役立つものがないか探してみました。

調べてみると、「情報セキュリティの大半が日常モラルである」と書いてある
資料を見つけました。これは、インターネットを使用する時には、態度
や思考、思いやりといった、日常モラルが非常に大切だということを表
していると思います。言い換えると、対面のコミュニケーションでやっ
てはいけないことは③のです。もちろん、これだけで全てのリス
クに対応することはできませんが、日常モラルを忘れないように注意
してインターネットを利用することが、リスクに備える第一歩になると
思います。

例えば、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）のよう
な、インターネットを通じて多くの人が互いに情報を発信し合い、交
流できるソーシャルメディアは、情報の客観性や信頼性を確認する必要
はありますが、さまざまなことについての情報を得るという点でも、他
者とコミュニケーションを図るという点でも、大変便利なものです。S
NSのように、コミュニケーションツールとしてインターネットを活用
する場合は、いっそう日常モラルが大切になることを意識する必要があります
と思います。

はじめに述べたように、インターネットを使う際にはさまざまなリス
クがあります。しかし、今やインターネットは社会に欠かせないもので
す。情報モラルを正しく理解してインターネットを活用し、学びを広げ
たり、深めたりしていくことが大切だと考えます。

【話し合いの様子】

池田 ④今日の講話は、インターネットとの付き合い方という、私たちに
とって身近な内容だったね。

宮本 ④インターネットの使い方については、これまでも勉強してきた
よね。今日の講話でも、実際にあったことがたくさん紹介されてい
て、わかりやすかったよ。

井上 ④うん。自分だったらどうだろうと想像しながら話を聞くこと
ができたよ。調べものをする時だって、たくさん情報がすぐに見
つかるインターネットはとても便利だから、毎日のように使ってい
るよね。

松永 ④ただ、今日の講話を聞いていたら、インターネットは便利だけ
じゃないと感じたよ。

宮本 ④意見をなくしても③を信じて拡散してしまう危険性や、ネッ
ト依存、著作権の侵害など、いろいろの問題が紹介されていたね。
リスクがたくさんあるし、何に注意すればいいかわからなく
なってしまうさ。インターネットを安心して使うには、どん
なことに注意して利用すればいいのかわからない。

井上 ④そうだね。危険だからインターネットは使わないというわけには
いかないからね。

池田 ④インターネットを使うと、学びを広げたり、深めたりすることが
できるから、勉強する時にインターネットを活用することも多いよ
ね。インターネットを上手に使っていきたいね。

【グラフ】

ソーシャルメディアを利用して、良かったと思ったこと（複数回答）

新しい友人ができた
趣味や身近な地域の
話題など、自分が
興味のある情報を
得ることができた
社会や経済等
に関する最新の
ニュースや情報を
得ることができた
しばらく連絡を取ってなかった人と
再び連絡を取ることができるようになった
家族や友達
との結びつき
が深まった
競争相手が
できた

——日本
---アメリカ
.....ドイツ
- . - .イギリス

（総務省「ICTによるインクルージョンの実現に関する調査研究」（2018）による。）

④作文は自らの体験、見聞に沿って端的に意見を述べる必要がある。

R 7[3]

- 5 波線部分に「私が目指している、あるいは夢見ている世界」とあるが、「あなたが目指している、あるいは夢見ている世界」について、次の〈注意〉にしたがって書きなさい。

- 〈注意〉1 あなたが目指している世界、あるいは夢見ている世界を実現するために必要なことにふれながら書くこと。
- 2 解答欄の原稿用紙には「題名」や「氏名」は書かないで、本文だけを縦書きで書くこと。
- 3 書き出しは一マス空け、段落は変えないこと。
- 4 六行以上、七行以内にまとめて書くこと。

★原稿用紙の正しい用い方を意識しながら、中学3年生らしい言葉遣いで文章を書くこと。

★R 6とH31は大問2で出題された。

解答

- R4[1]4 I II ア III キ R5[1]2 エ R6[1]3 オ R7[1]3 ウ
- R7[1]5 副詞 R7[2]2 エ
- R6[2]4[A] 他者とコミュニケーションを図る [B] さまざまなことについての情報を得る
- R7[3]5 (例) 私が目指している、あるいは夢見ている世界は、「恒久的に戦争や紛争が起こらない、平和な世界」である。それを実現するためには、各国の協力が必要になってくるだろう。しかし、人間は様々な格差の中、各々個人の都合で動くものであり、それは、国家であっても同じである。まずは私たち一人ひとりが、継続的な平和を望み、政治や国際情勢に興味を持つべきだと考える。